

令和3年8月27日

令和3年第7回神奈川県議会臨時会

厚生常任委員会資料
(令和3年8月27日付託分)

健康医療局

目 次

ページ

令和3年度8月補正予算（その2）

- 1 令和3年度8月補正予算（その2）の内容【健康医療局関係】 …………… 1
- 2 令和3年度一般会計8月補正予算（その2）の概要【健康医療局関係】 …… 2

1 令和3年度8月補正予算（その2）の内容【健康医療局関係】

（一般会計）

（単位：千円）

内 訳 科 目	補正前の額 A	補正額 B	計 A + B	補正予算額の財源内訳				説明
				特 定 財 源			一般 財源	
				国 庫 支出金	県 債	その他		
(款)衛生費	298,745,067	1,179,513	299,924,580	—	—	—	1,179,513	
(項)公衆衛生費	121,483,690	1,179,513	122,663,203	—	—	—	1,179,513	新型コロナウイルス感染症対策費
(項)環境衛生費	1,065,710	—	1,065,710	—	—	—	—	
(項)保健所費	285,734	—	285,734	—	—	—	—	
(項)医薬費	160,645,914	—	160,645,914	—	—	—	—	
(項)病院費	15,264,019	—	15,264,019	—	—	—	—	
使途を指定しない収入	—	—	—	—	—	—	—	
(款)教育費	3,602,201	—	3,602,201	—	—	—	—	
(項)大学費	3,602,201	—	3,602,201	—	—	—	—	
使途を指定しない収入	—	—	—	—	—	—	—	
一般会計 計	302,347,268	1,179,513	303,526,781	—	—	—	1,179,513	

（特別会計）

国民健康保険事業会計	711,687,031	—	711,687,031
地方独立行政法人神奈川県立病院機構資金会計	5,381,021	—	5,381,021
特別会計 計	717,068,052	—	717,068,052

健康医療局 合計	1,019,415,320	1,179,513	1,020,594,833
----------	---------------	-----------	---------------

2 令和3年度一般会計8月補正予算（その2）の概要【健康医療局関係】

(1) 抗原検査キットの配布について

5款 衛生費 1項 公衆衛生費

⑨・新型コロナウイルス感染症対策費

ア 目的

新型コロナウイルスワクチン接種の対象年齢となっていない園児や児童等における感染拡大を防止する。

イ 内容

保育園、幼稚園、小学校及び特別支援学校を通じて抗原検査キットを配布する。

ウ 予算額 1,179,513千円



新型コロナウイルスに係る現在の状況について < 8月24日までのデータを反映 >

令和3年8月26日
 健康医療局医療危機対策本部室

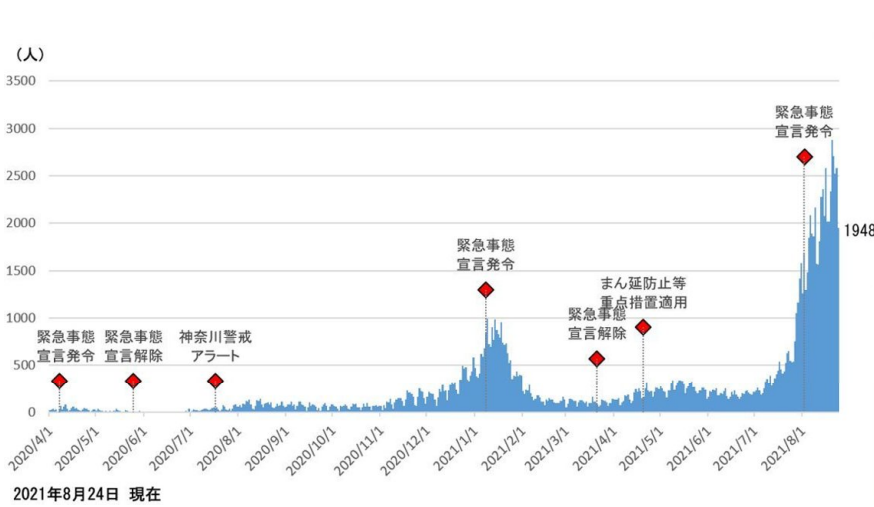
ステージ判断指標と本県の状況について

判断項目			本県の状況		ステージⅢの指標		ステージⅣの指標	
					指標	本県における基準	指標	本県における基準
医療体制等の負荷	医療のひっ迫具合	病床全体	Ⅳ	81.79% 1,693床 8月24日時点	最大確保病床の使用率 20%以上	414床 2,070床(疑似症含まない確保病床数)×0.2	最大確保病床の使用率 50%以上	1,035床 2,070床(疑似症含まない確保病床数)×0.5
		重症者用病床	Ⅳ	87.50% 245床 8月24日時点	最大確保病床の使用率 20%以上	56床 280床(疑似症含まない確保病床数)×0.2	最大確保病床の使用率 50%以上	140床 280床(疑似症含まない確保病床数)×0.5
	療養者数	Ⅳ	190.55人 17,567人 8月24日時点	人口10万人当たり全療養者数 20人以上	1,843人 92.19×20	人口10万人当たり全療養者数 30人以上	2,765人 92.19×30	
感染の状況	PCR陽性率		Ⅳ	36.97% 8月23日時点	5%以上		10%以上	
	新規陽性者数		Ⅳ	184.35人 16,995人 8月24日時点	人口10万人当たり週合計 15人以上	1,382人 (週平均197.4人/日) 92.19×15	人口10万人当たり週合計 25人以上	2,304人 (週平均329.1人/日) 92.19×25
	感染経路不明割合		Ⅲ・Ⅳ	67.88% 8月24日時点	50%以上		50%以上	

参考: 病床利用率(即応病床中)
 病床全体: 81.79%
 うち重症: 87.5%

※ 速報値のため、修正される可能性あり

新規感染者の推移（実数・日別）・感染者カレンダー

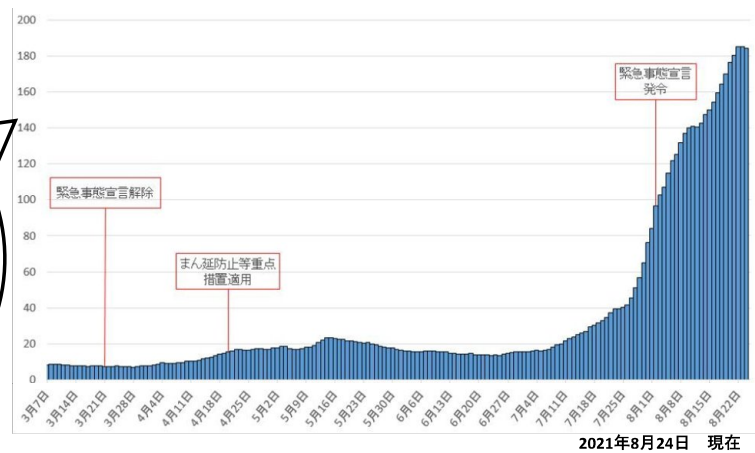
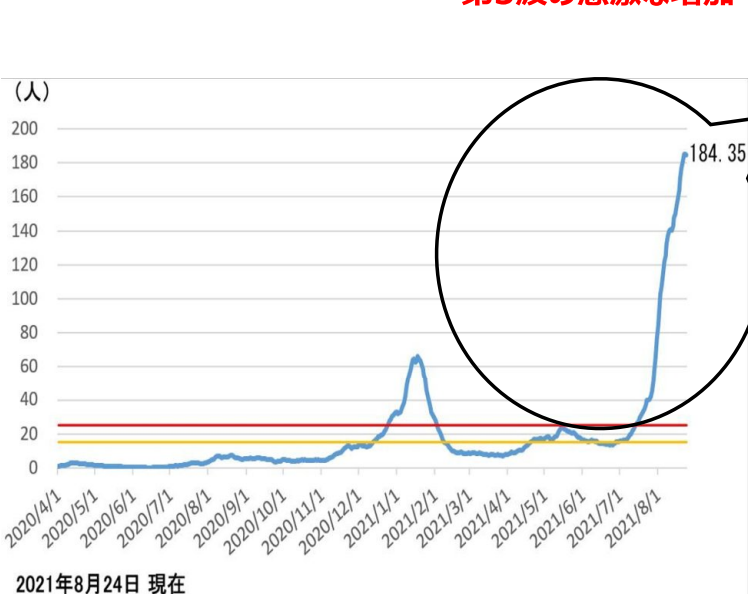


	日	月	火	水	木	金	土	週合計
6月	27	28	29	30	7/1	2	3	週合計
	203人	192人	181人	209人	211人	230人	254人	1480人
7月	4	5	6	7	8	9	10	週合計
	226人	180人	198人	250人	322人	355人	310人	1841人
	11	12	13	14	15	16	17	週合計
	389人	280人	308人	361人	403人	446人	539人	2726人
	18	19	20	21	22	23	24	週合計
	460人	412人	433人	521人	630人	652人	547人	3655人
	25	26	27	28	29	30	31	週合計
	531人	539人	758人	1051人	1164人	1418人	1580人	7041人
8月	8/1	2	3	4	5	6	7	週合計
	1257人	1686人	1298人	1484人	1845人	2082人	1893人	11545人
	8	9	10	11	12	13	14	週合計
	1860人	2166人	1572人	1561人	1807人	2281人	2356人	13603人
	15	16	17	18	19	20	21	週合計
	2079人	2584人	2017人	2021人	2340人	2878人	2705人	16624人
	22	23	24	25	26	27	28	週合計
	2524人	2579人	1948人					

2

新規感染者の推移(人口10万人当たり・週合計)

第5波の急激な増加



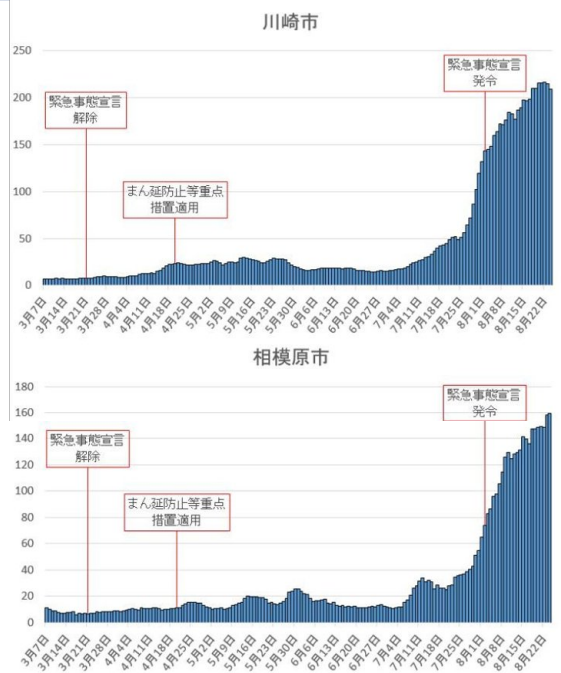
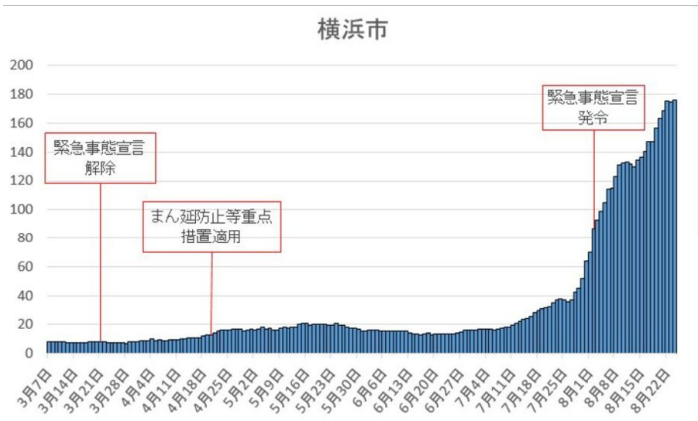
※各日における週合計の感染者数を人口10万人当りに換算
 ※県のステージ判断指標におけるステージIV移行の基準値として、25人（/週）以上であることを設定している。

3

新規感染者の推移（横浜市・川崎市・相模原市）

※下記グラフの人数には、保健所設置市が発表した域外居住者は除外。

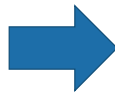
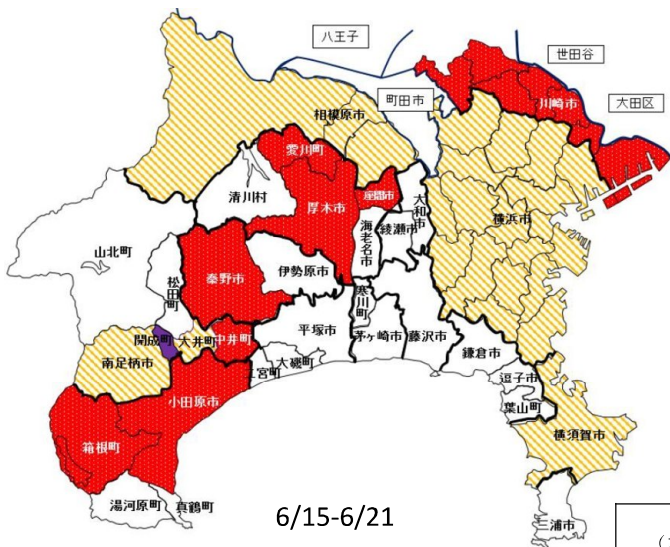
人口10万人当たりの居住地別の週合計の推移



2021年8月24日 現在

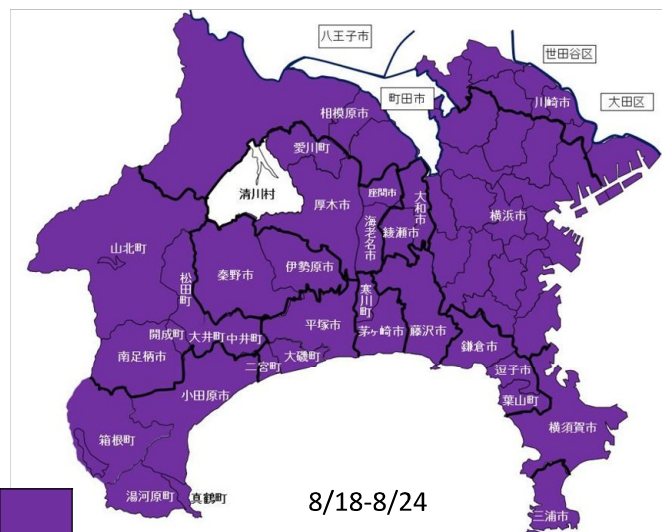
県内市町村別の新規感染者の発生状況

※下記表の人数には、①県域保健所が発表した保健所設置市居住者、②保健所設置市が発表した域外居住者は除外。

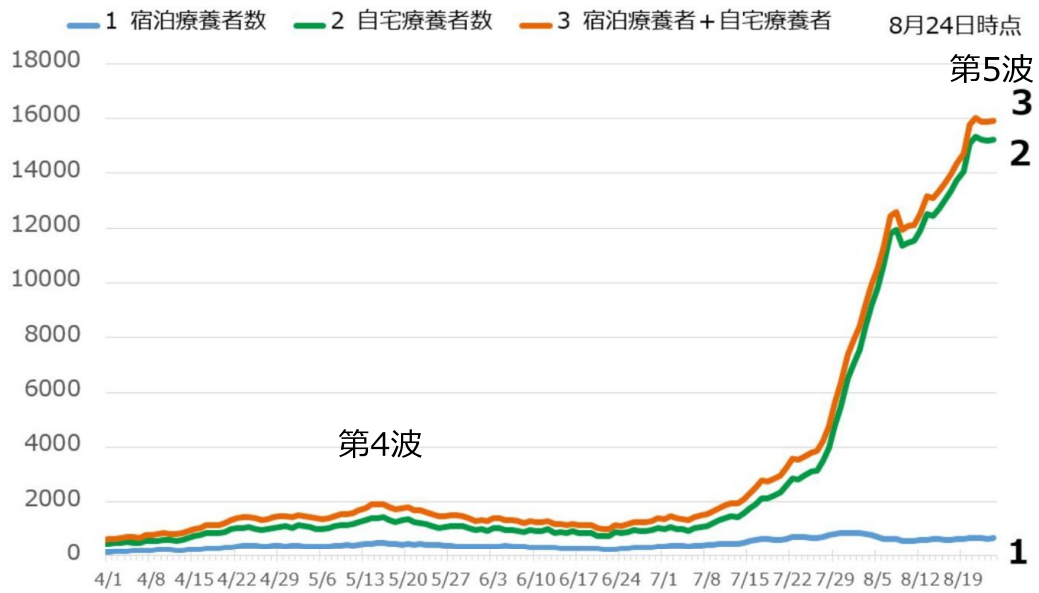


人口10万人あたりの新規感染者数（人）

25人以上 (ステージⅣ)	紫	
15人~25人 (ステージⅢ)	赤	
10人~15人 (ステージⅡ)	黄	

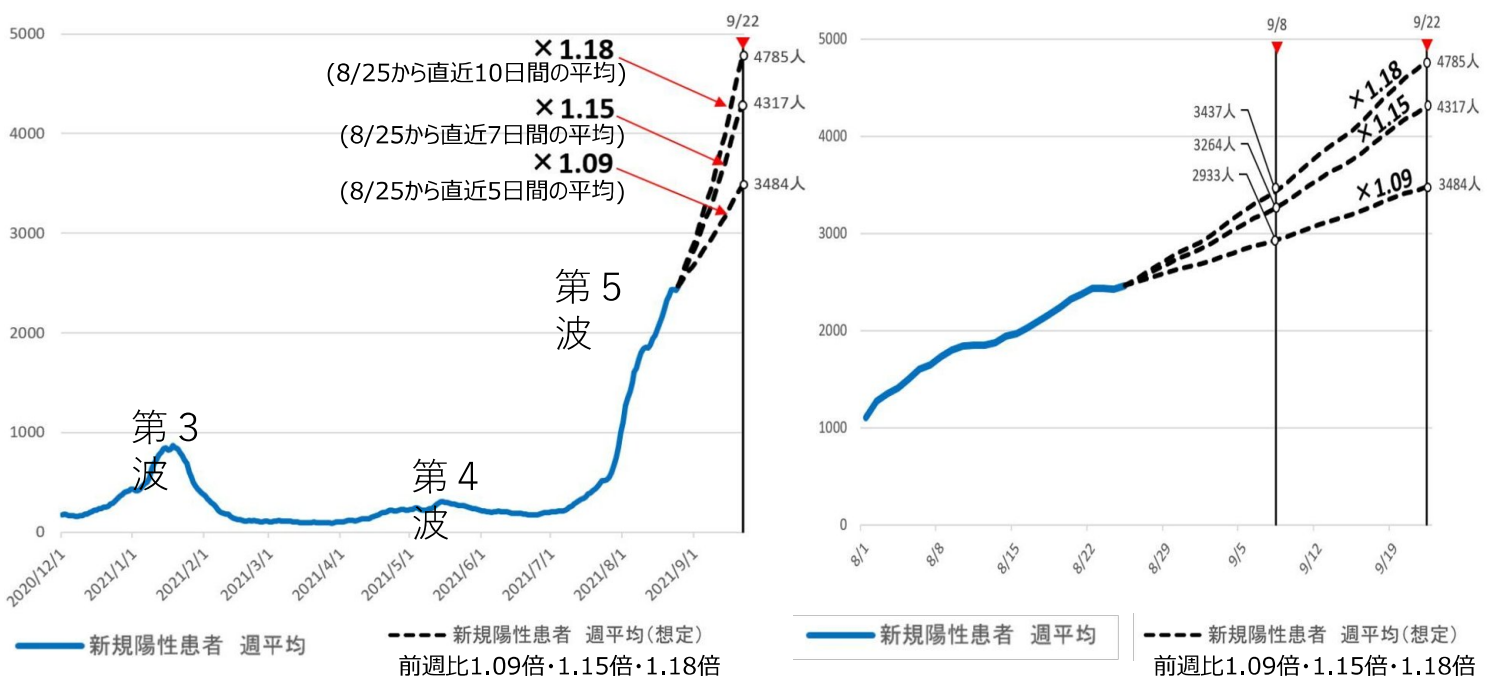


自宅・宿泊療養者数

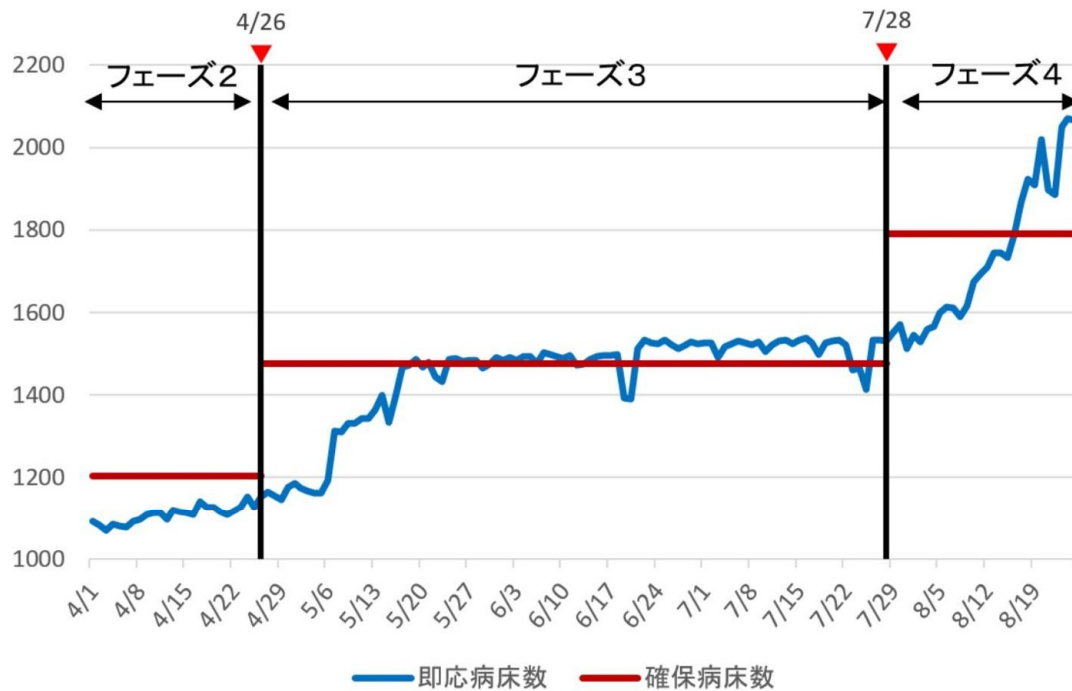


1は宿泊療養者数を、2は自宅療養者数を、3は宿泊療養者と自宅療養者の合計を示しています。

新規陽性患者 週平均のシミュレーション

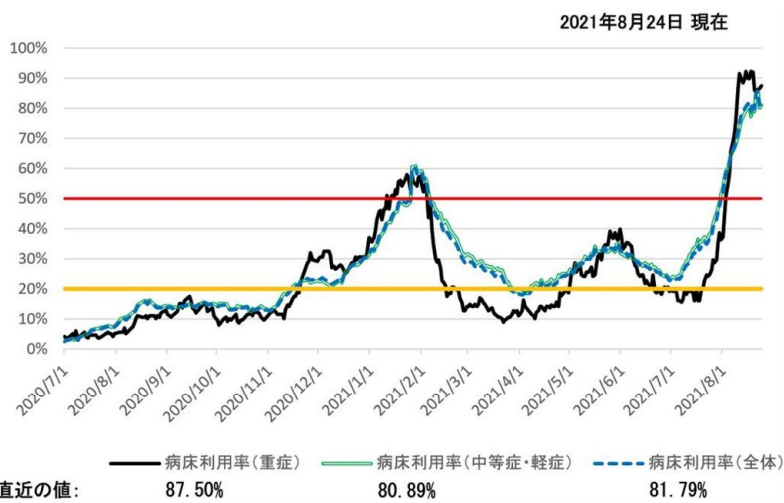


即応病床数の推移



入院者数・病床利用率

■ 病床利用率の推移



※県のステージ判断指標では、病床全体（宿泊療養施設は含まない）及び重症用病床の各確保病床に対する占有率が、ステージⅢ移行の基準値として20%以上、ステージⅣ移行の基準値として50%以上と設定。

※病床利用率は、最終的な確保病床に対する現在の入院者数で計算。休日における病床利用率は、直前の平日の数値を用いて計算。（ただし、2020年12月29日～については、休日分数値を取得・使用して描画。）

■ 入院者数(重症)

2021年8月25日 現在



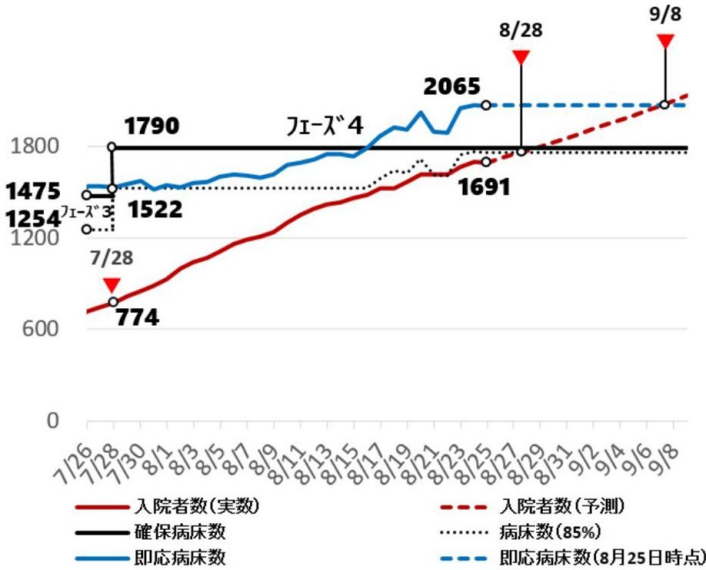
■ 入院者数(中等症+軽症)

2021年8月25日 現在

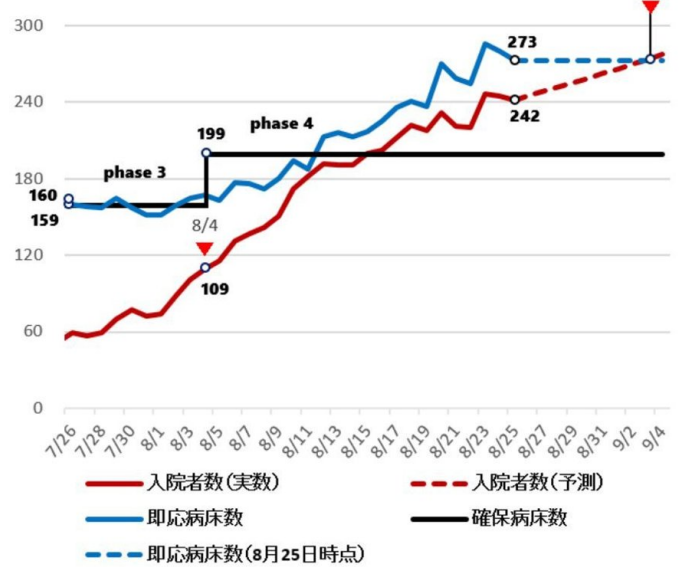


第5波シミュレーション（入院患者数と確保病床数）

■ 前日比1.02倍で入院患者が増え続けた場合のシミュレーション
 (8/19~8/25の前日比の平均：約1.02倍)

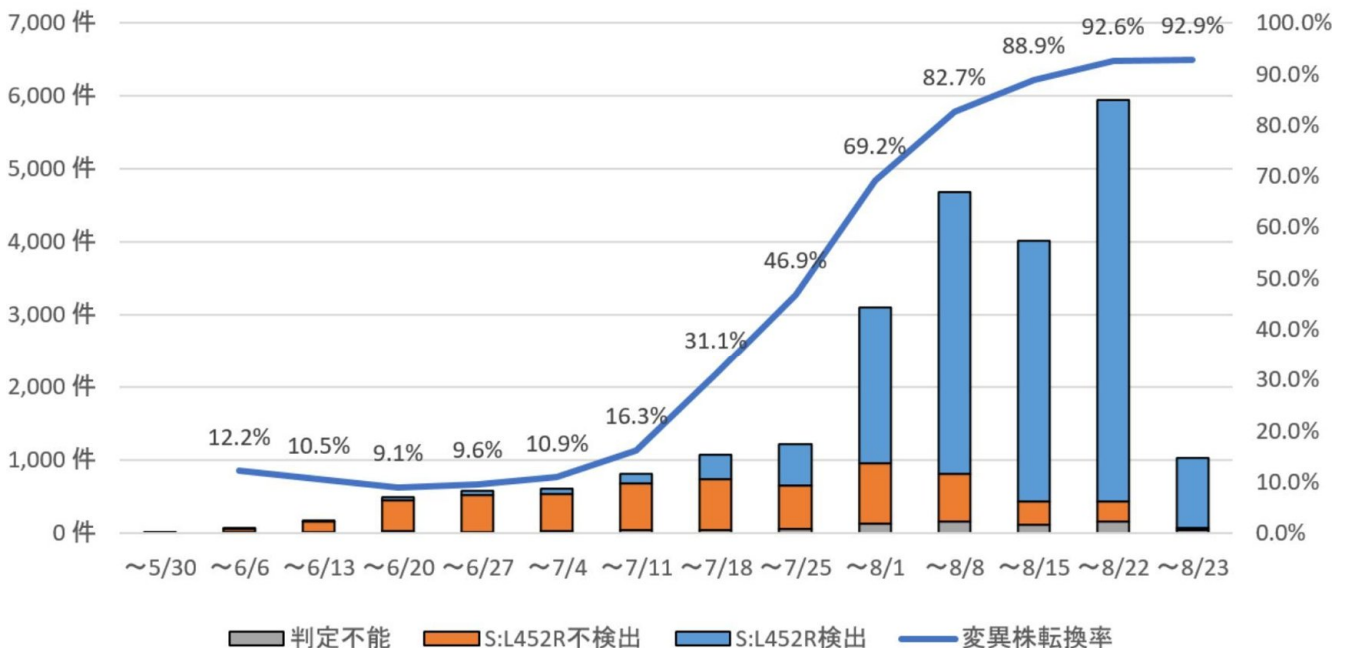


■ 前日比約1.01倍で入院患者(重症)が増え続けた場合のシミュレーション
 (8/19~8/25の前日比の平均：約1.01倍)

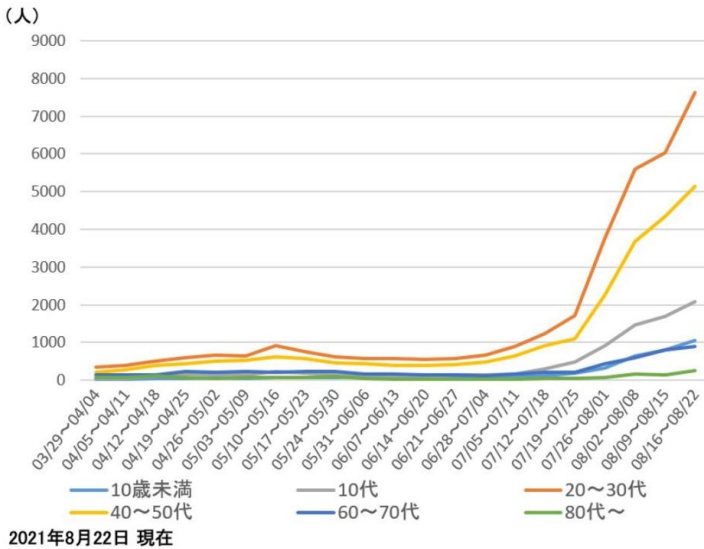


L452R変異モニタリング検査件数及び転換率（※速報値）

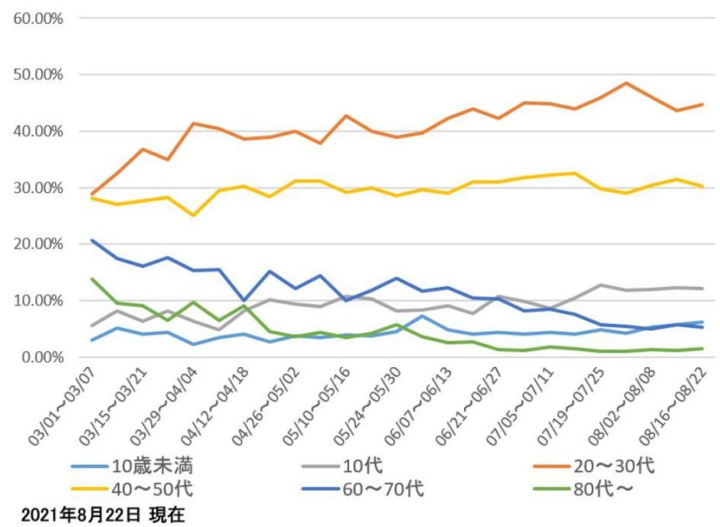
S:L452R変異ウイルスモニタリング検査件数及び転換率（※速報値）



■実数ベース



■割合ベース



12

3～18歳の新型コロナウイルスの感染場所

調査概要

新型コロナウイルスの感染拡大が続いている中で、2学期を前に幼児/児童/生徒の感染場所についての情報が求められている。HER-SYSデータを用いて、年齢階級別（3～5歳、6～12歳、13～15歳、16～18歳）の感染場所について、それぞれの割合を算出した。なお、感染場所の入力率が非常に少ないという点に留意が必要である。

2021年4月1日から2021年7月22日までの、発生届ベースのHER-SYSデータを集計した。新型コロナウイルス感染陽性者のうち、17.8%が感染場所抽出可能であり、そのデータを利用。

結果・考察

- 3～15歳は自宅での感染が多かった。
- 児童/生徒については、年齢が上がるほど学校等での感染が多くなっていった。
- 4月から7月にかけて直近になるほど、児童/生徒の学校等での感染の割合は低くなっており、自宅での感染の割合が高くなっていった。
- 幼児（3～5歳）の感染場所は、自宅が最も多く、続いて福祉施設（児童）/学校等での感染が多かった。

HER-SYSデータ上で、小児のコロナ感染陽性者のうち、感染場所が抽出可能な者の割合が約18%であり、本結果が全体を示しているわけではないことに留意が必要

3～18歳の新型コロナウイルスの感染場所

調査結果

3～15歳は自宅での感染が多かったが、児童/生徒は年齢が上がるほど学校等での感染が多かった

感染場所	3歳～5歳	6歳～12歳	13歳～15歳	16歳～18歳
学校等	168人 (15.9%)	332人 (14.6%)	435人 (33.0%)	878人 (45.7%)
福祉施設（児童）	209人 (19.8%)	74人 (3.2%)	27人 (2.0%)	13人 (0.7%)
運動施設	6人 (0.6%)	34人 (1.5%)	19人 (1.4%)	35人 (1.8%)
自宅	632人 (59.8%)	1,745人 (76.6%)	792人 (60%)	756人 (39.4%)
上記以外	41人 (3.9%)	92人 (4.0%)	47人 (3.6%)	239人 (12.4%)
合計	1,056人	2,277人	1,320人	1,921人

【本データの背景】 4月1日～7月22日までのHER-SYSデータを集計した

3～18歳	4月	5月	6月	7月	合計	割合
コロナ感染陽性者数	11,150人	14,434人	5,536人	5,755人	36,875人	
感染場所抽出可能者数 ^(※)	1,807人	2,465人	1,021人	1,281人	6,574人	17.8%

※ 感染場所の入力のあるもの（8,529人）の中から、場所種別不明（1,955人）を除いた数

HER-SYSデータ上で、小児のコロナ感染陽性者のうち、感染場所が抽出可能な者の割合が約18%であり、本結果が全体を示しているわけではないことに

2021.8.25 アドバイザリーボード資料

14

3～18歳の月別の新型コロナウイルス感染場所

【児童・生徒（6～18歳）】

※ 7月のデータは7月22日までのものを集計

感染場所	4月	5月	6月	7月 ^(※)	合計	割合
学校等	522人 (33.5%)	615人 (30.3%)	249人 (28.9%)	259人 (24.3%)	1,645人	29.8%
福祉施設（児童）	54人 (3.5%)	28人 (1.4%)	1人 (0.1%)	23人 (2.2%)	106人	1.9%
運動施設	18人 (1.2%)	23人 (1.1%)	20人 (2.3%)	27人 (2.5%)	88人	1.6%
自宅	877人 (56.2%)	1,220人 (60.1%)	529人 (61.4%)	667人 (62.6%)	3,293人	59.7%
上記以外	89人 (5.7%)	145人 (7.1%)	62人 (7.2%)	90人 (8.4%)	386人	7.0%

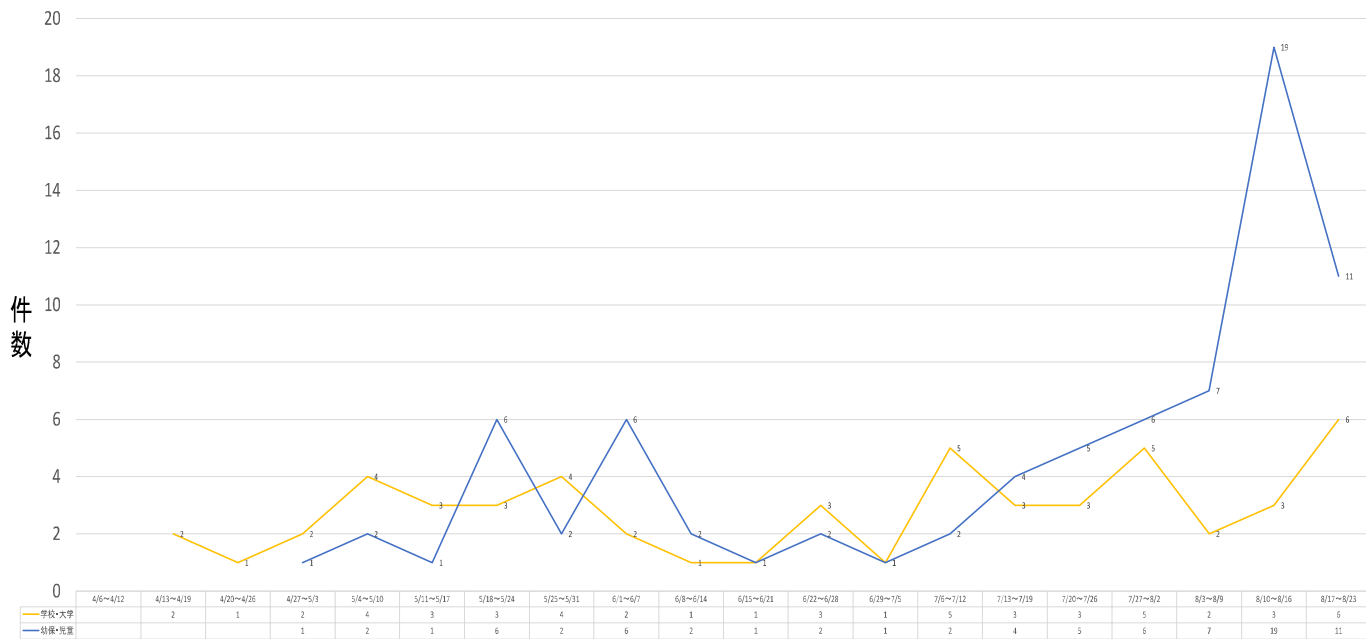
【幼児（3～5歳）】

感染場所	4月	5月	6月	7月 ^(※)	合計	割合
学校等	41人 (16.6%)	82人 (18.9%)	23人 (14.4%)	22人 (10.2%)	168人	15.9%
福祉施設（児童）	42人 (17.0%)	99人 (22.8%)	17人 (10.6%)	51人 (23.7%)	209人	19.8%
運動施設	1人 (0.4%)	4人 (0.9%)	1人 (0.6%)	0人 (0%)	6人	0.57%
自宅	154人 (62.3%)	234人 (53.9%)	112人 (70%)	132人 (61.4%)	632人	59.8%
上記以外	9人 (3.6%)	15人 (3.5%)	7人 (4.4%)	10人 (4.7%)	41人	3.88%

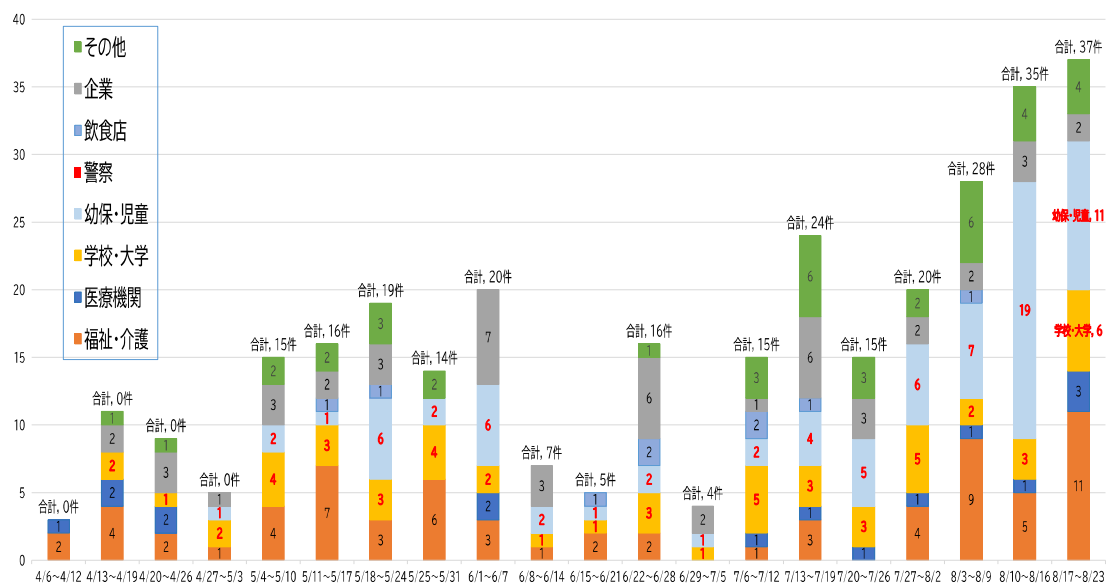
2021.8.25 アドバイザリーボード資料

15

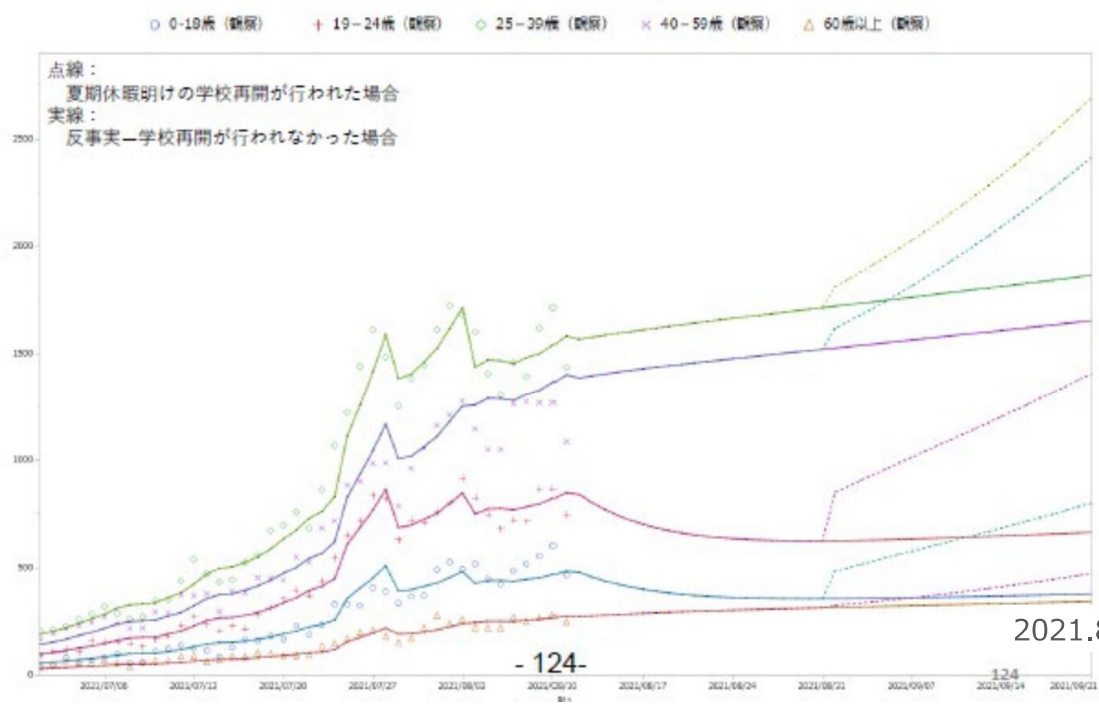
「学校・大学」及び「幼保・児童」の件数増加について



① 【施設別】新規クラスター発生動向



東京都における9/1大学等再開シナリオ



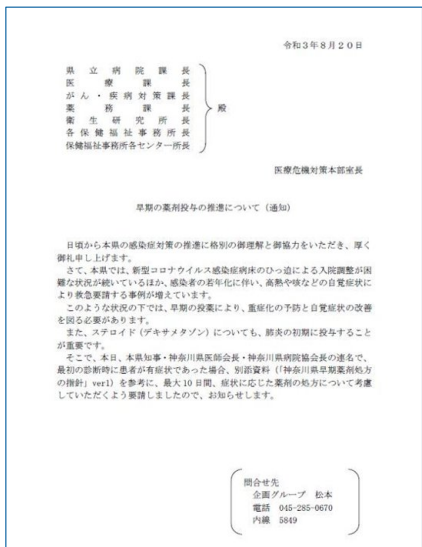
1 面での戦いの最終の打ち手

①健康時	②発症時	③療養時	④緊急時
<p>ワクチン接種</p> <ul style="list-style-type: none"> 2021年7月中高齢者接種完了 全世代に対し接種を積極的に推進 <p>LINEパーソナルサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> 2020年3月5日～サービス開始 130万人以上が登録 	<p>抗原検査キット配布</p> <ul style="list-style-type: none"> 2021年7月29日LINEパーソナルサポート上で配布開始 別途、家庭向け・子ども向けに配布 <p>外来医療機関紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症専用ダイヤルにて外来診療の病院を紹介 	<p>new 早期薬剤処方指針発表</p> <ul style="list-style-type: none"> 2021年8月20日通知 解熱剤等基本的な治療薬を帰宅前に処方するよう指針作成 <p>中和抗体薬投与</p> <ul style="list-style-type: none"> 2021年8月26日開始 基礎疾患保有者等ハイリスク者へ中和抗体薬の投与体制構築 <p>地域療養</p> <ul style="list-style-type: none"> 2020年4月1日～各地域で順次開始 ハイリスク者の訪問看護・診療体制構築 <p>神奈川モデルに基づく入院</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度・重点・協力医療機関が病床確保 入院が必要な患者を調整・搬送 	<p>緊急酸素投与センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 2021年8月7日開設 入院調整中に緊急に酸素を必要とする患者を受入れ <p>臨時の医療施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 2020年4月より開設 ヘルスイノベーションパーク、海老名総合病院、北里大学病院で開設中

← 医学的アプローチをより前倒し

2 早期薬剤処方指針の通知

県・医療危機対策本部室通知
(令和3年8月20日)



「神奈川県早期処方指針Ver1」

- PCR等の確定的検査と同時に抗原検査キットによる診断（即日診断）を推奨
- 有症状者へは症状に応じて下表のとおり処方することを推奨

	症状	処方薬
①	発熱、頭痛、咽頭痛、関節痛	解熱鎮痛剤 アセトアミノフェン 500mg/回 3~4回/日 (保険診療上鎮痛目的の方が多い量を処方可能)
②	咳	鎮咳剤 デキストロメトルファン 15mg/回 3~4回/日 *咳強いことが多いので下記積極的に リン酸コデイン 20mg/回 3~4回/日
③	悪心、嘔吐	制吐剤 メトクロプラミド 10mg/回 2~3回/日
④	肺炎が疑われ、糖尿病・耐糖能異常がない場合	デキサメサゾン（デカドロン®、デキサート®） 6mg/回 1回/日（内服、静注） 10日間 または プレドニゾン 40mg(20-10-10/日)

→診断後、有症状者の症状に応じて早期処方することで、将来の入院、119番通報を減らせる

緊急事態宣言発出に係る 県の対応について (子どもコロナ対策の強化)

令和3年8月26日

Kanagawa Prefectural Government

県教育委員会における今後の教育活動等について

○緊急事態宣言期間中の
児童・生徒の安全・安心と学びの保障の両立を目指した対応の強化

(1) 県立学校

基本的な対応をさらに徹底

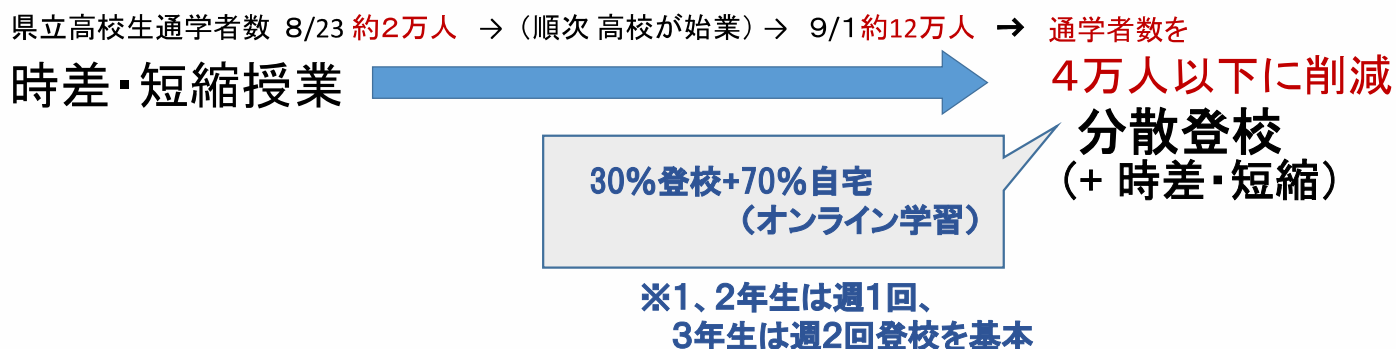
- ・ 児童・生徒・教職員の感染者が判明した時点で、必要な対応が終了するまで当該校は臨時休業
- ・ 毎朝の検温等の健康観察を行い、発熱等体調不良の症状がある場合は登校せず自宅で休養
- ・ 登校が不安な生徒については欠席扱いとせずオンライン等による学びを継続

県教育委員会における今後の教育活動等について

(1) 県立学校

〈 高等学校・中等教育学校 〉

進路選択の大切な時期であることを踏まえつつ人流抑制、教室内での感染防止対策(1クラス20名)を徹底



Kanagawa Prefectural Government

2

県教育委員会における今後の教育活動等について

〈 特別支援学校 〉

「子どもの居場所」の確保を大切にして、児童・生徒の安全・安心と学びの継続

時差・短縮授業

(2) 市町村立学校

地域の実情に応じて、県立学校の対応を踏まえ、積極的に短縮授業や分散登校、オンライン学習を要請

Kanagawa Prefectural Government

3

教育現場における検査対象の拡大

令和3年8月13日付厚労省事務連絡において、必要な検査が迅速に行える柔軟な対応を依頼

期間限定の緊急事態措置の更なる強化に関する提言(令和3年8月12日)

＜緊急事態措置地域において更に行うべき対策＞

【検査の更なる促進】

- 自治体は、学校、職場、保育園等において、体調が少しでも悪い場合には気軽に抗原定性検査やPCR検査を受けられるよう促すこと。検査陽性者を確認した際には、医師や健康管理者は、保健所の判断が無くても、さらに濃厚な接触の可能性のある者に検査を促すこと。

県の取組

●検査の更なる促進の周知徹底

- ・必要な検査の迅速な実施に向けて、保健所設置市や教育機関等へ改めて周知

●検査体制の強化

- ・県所管域では、集中検査を速やかに実施できるよう、民間の検査会社への委託内容を拡充

Kanagawa Prefectural Government

4

その他、子どもの感染拡大を防ぐ取組み

○ 発熱等の症状がある場合は、通園・通学させない

発熱や咳など体調に異変が生じた場合、大人はもとより、子どもに通園・通学をさせず、医療機関を受診するよう、改めて啓発

○ 抗原検査キットを自宅で活用

ワクチン接種の対象年齢となっていない、園児や児童等における感染拡大を防止するため、保育園・幼稚園・小学校などに通う子どものいる、すべての家庭に自宅でできる抗原検査キットを配布することを検討

配布対象	ワクチンの接種対象とならない園児や児童等(約77万人)
配布数	約185万キット(1人あたり2キット)
配布時期	9月

Kanagawa Prefectural Government

5